

当初予算 一般会計 295億7,000万円

対前年度比 10億円減 (3.3%減)

予算総額 635億5,639万9千円 (一般会計・特別会計を合わせたもの)

用語解説／歳入

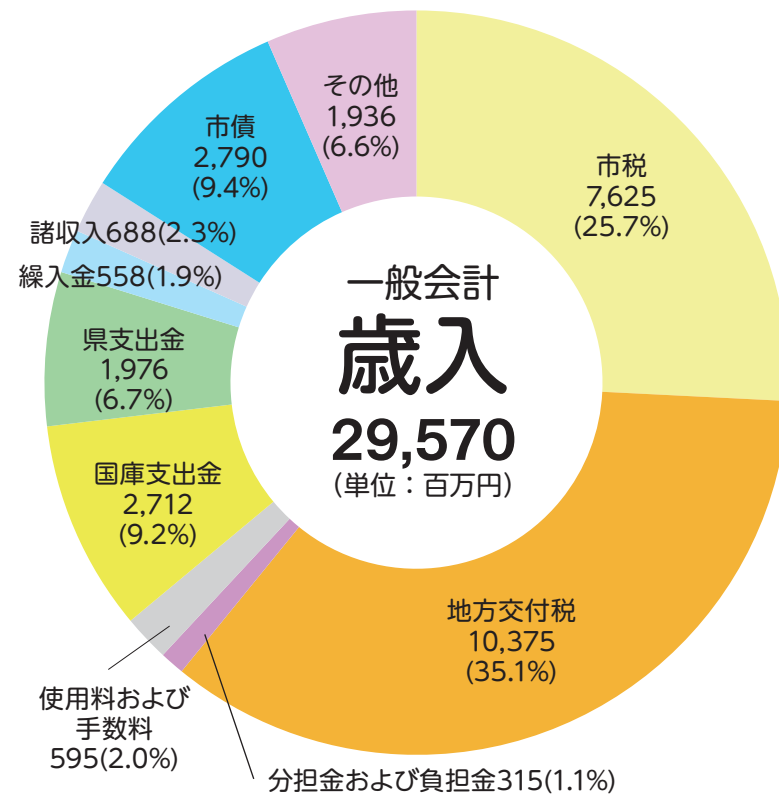
市 税：市民税や固定資産税、軽自動車税、市たばこ税など
地方交付税：地方公共団体が一定水準の行政サービスを提供できるように国が地方公共団体へ交付するもの
国庫支出金：各種事業に対する国からの補助金など
県 支 出 金：各種事業に対する県からの補助金など

用語解説／歳出

総務費：市の事務、庁舎管理、市民活動の推進などに要する経費
民生費：児童・高齢者・障害者福祉、生活保護、福祉医療などに要する経費
衛生費：各種健診、予防接種、環境保全、ごみ処理、し尿処理などに要する経費
教育費：学校教育やスポーツ・文化の振興などに要する経費
公債費：市債を返済する元利償還金などの経費

歳入の部

※()内は構成比率を表します。



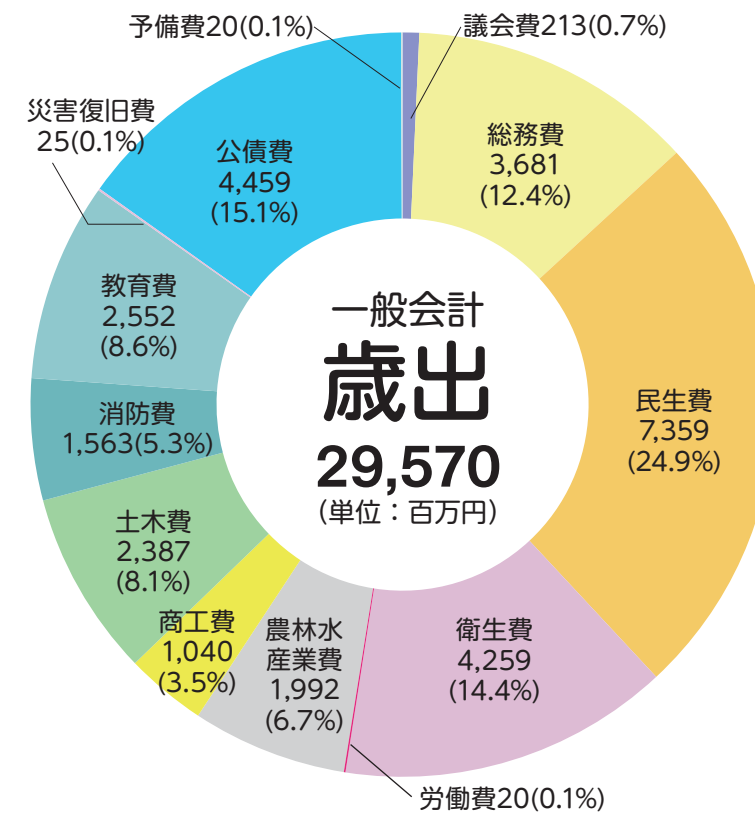
歳入の柱である市税は、市民税や固定資産税などを合わせ、76億2,500万円、地方交付税は、103億7,500万円を見込んでいます。

市債は「のと里山里海ミュージアム」の整備など、総額27億8,970万円を予定しています。

また、ふるさと納税振興基金に加え、子ども・子育て基金や地域づくり推進基金などから総額4億3,824万2千円、財政調整基金から1億2,000万円を繰り入れ、財源を確保しています。

歳出の部

※()内は構成比率を表します。



主なものとして、総務費は、ふるさと納税寄付金の返礼品などに2億1,371万2千円、民生費は、子ども医療費の助成として1億706万4千円を計上しています。

商工費は、企業誘致に伴う公共施設の解体工事などに3億9,702万1千円を計上しています。

また、消防費は、はしご車などの更新に2億7,147万7千円、教育費は、10月に開館する「のと里山里海ミュージアム」の整備に4億1,029万4千円をそれぞれ計上しています。

公営企業以外の特別会計

ケーブルテレビ事業特別会計 5億2,977万7千円 (15.0%増)
 国民健康保険特別会計 61億3,709万1千円 (19.6%減)
 後期高齢者医療保険特別会計 7億6,250万6千円 (10.1%増)
 介護保険特別会計 70億3,741万2千円 (2.4%増)
 公設地方卸売市場事業特別会計 8,484万円 (0.2%増)
 西岸財産区特別会計 29万1千円 (146.6%増)

※()内は対前年度比を表します。

公営企業の特別会計

水道事業会計 30億3,481万2千円 (10.1%増)
 下水道事業会計 58億7,703万9千円 (平成30年度から公営企業会計に移行)
 病院事業会計 105億2,263万1千円 (1.5%減)

ふるさと納税をまちづくりに活用します



- ①若い世代が結婚・出産・子育てしやすい環境をつくる
- ②時代にあった地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る
- ③七尾市にしごとをつくり、安心して働けるようにする
- ④七尾市への新しい人の流れをつくる